

鶴見総合高校の校門で市街地広報

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3陸佐）は、7月19日（火）及び20日（水）、県立鶴見総合高校の前で市街地広報を実施した。

本広報は、同校のキャリア形成支援の先生の協力により校門前で実施し、同校生徒に対し自衛官募集と3種合同ガイダンスの宣伝をした。

横浜出張所は、「今後も市街地広報を実施し、自衛官の職業を積極的にアピールしていきたい」としている。

京急鶴見駅の仮囲いで自衛官募集

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部3陸佐）は、7月19日（火）、京急鶴見駅の耐震工事に伴い設置された仮囲いに募集ポスターを掲示した。

本掲示は、同駅及び大成・戸田建設共同企業の協力により実現したもので、同駅は利用者も多いため非常に募集広報効果が期待できる。

横浜出張所は、「今後も、担当地域においてポスター掲示協力をお願いし、自衛隊の募集成果の向上を図っていききたい」としている。

高等工科学校在學生2名が近況報告に来所

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 鳶津准陸尉）は、8月8日（月）、陸上自衛隊高等工科学校学生（2年生）2名の来所を受けた。

両名は、平成27年に同所から高等工科学校に入校した学生であり、学校の夏季休暇を利用し近況報告のため訪れたもので、入校した頃とは見違えるほど遅く成長し、学校での近況を報告してくれた。

学校での生活も、2年生となり勉強やクラブ活動などより充実している様子であった。学生からは、同所の広報官に対し、今後の部隊での勤務や生活に関する質問があるなど、部隊での勤務を見据え、今後の希望職種選択の参考としていた。

藤沢募集案内所長は、「今後も入校・入隊者やその家族との交流を継続しつつ、地域とともに活力ある強靱な自衛隊の創造に資する人材の確保を目指していく」としている。



高校学生（左から2、3番目）と藤沢募集案内所所員